

# 日英・15人の茶碗展

Chawan exhibition  
by 15 British and Japanese potters



2011年12月9日(金) ~ 2012年1月15日(日)

11:00 pm~6:00 pm

[火・水&12月26日-1月5日 休廊]

---

**GALLERY ST. IVES**

バーナード・リーチの没後、久しく交流が途絶えていた日英の陶芸界ですが、21世紀に入り、リーチ工房が再建されたこともあって、相互の訪問が再び活発になってきました。その結果、イギリスでも日本の茶道が徐々に知られるようになり、茶碗を手がける陶芸家も増えてきました。

ボウエン、カーティス、ドハティ、ハモンド、リーチ、ロジャースは、来日経験があり、イギリスでも茶碗を発表しています。フィッチ、ラベリックは、それぞれの特徴的な作風を生かして、今回、初めて茶碗に挑みました。

日本側は、益子の松崎健氏、濱田友緒氏のように、すでにイギリスとの太いパイプがある陶芸家のほか、訪英経験のある陶芸家が中心となっています。加藤委氏、内田鋼一氏、桑田卓郎氏とは、イギリス各地を一緒に旅し、陶芸家や産地を訪ね歩きました。

今回の茶碗展を機に、イギリスでの日英茶碗展、そして茶会につながればと切に願っています。

店主 井坂浩一郎



Slipware Chawan by Douglas Fitch



黒面取茶盃 高 11.4cm x 幅 13.6cm x 奥行 12.8cm

## 伊勢崎晃一郎 Koichiro Isezaki

- 1974年 備前市生まれ
- 1996年 東京造形大学彫刻科卒業
- 1998年 ジェフシャピロ(ニューヨーク州)に師事
- 2006年 Generational crossroads展(ボストン)
- 2008年 シンポジウム"茶陶—造形と意匠にみる現在性"  
(ギャラリーヴォイス)
- 2009年 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」奨励賞
- 2010年 日本伝統工芸中国支部展 日本工芸会賞  
"現代工芸への視点—茶事をめぐって"  
(東京国立近代美術館工芸館)
- 2011年 シンポジウム"茶陶—造形と意匠にみる現在性II" パネリスト参加  
在廊日: 12月9・10・11日



Slipware Chawan 高 8.6cm x 径 11.2cm

## クライヴ・ボウエン Clive Bowen

- 1943年 ウェールズ、カーディフに生まれる  
カーディフ美術学校でエッチングを専攻
- 1965-69年 バーナード・リーチの次男、マイケル・リーチに師事
- 1971年 北デボン、シェビアの農家に移り、最初の薪窯を築く
- 1976年 400立方フィートの薪窯を築く
- 1991年 コンテンポラリー・アプライド・アーツにて初の個展(ロンドン)
- 2006年 ゴールドマーク・ギャラリーにて個展(英・アッピンガム)
- 2007年 国際陶芸祭でデモンストレーションならびに講演(ウェールズ)
- 2008年 益子陶芸美術館にて「クライヴ・ボウエン展」(栃木県・益子)
- 2009年 ギャラリー・セントアイヴスにて「柴田雅章 クライヴ・ボウエン  
二人展」(2011年に第2回)



白金彩面取茶盃 高9.3cm x 径11.0cm

## 内田 鋼一 Kouichi Uchida

- 1969年 愛知県名古屋市に生まれる
- 1990年 愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科修了  
三重県四日市市の製陶所にて轆轤の賃挽き職人として働く  
以後、海外の窯業地に滞在。(ヨーロッパ・アジア・西アフリカ・南米など)
- 2000年 「うつわをみる 暮らしに息づく工芸」展(東京国立近代美術館工芸館)
- 2003年 「UCHIDA KOUICHI」展 (Paramita Museum、三重)
- 2004年 静謐なかたち「内田鋼一 Uchida Kouichi」 works: 2003-2004  
(4th MUSEUM RIVER RETREAT 雅楽俱、富山)  
「陶芸の現在、そして未来へ Ceramic Now+」(兵庫陶芸美術館)
- 2006年 「JAPANESE CRAFTS」(ギャラリーベッソン、ロンドン)  
新進陶芸家による「東海現代陶芸の今」展(愛知県陶芸資料館)
- 2008年 Rosso: Uchida Kouichi (Daniela Gregis、ベルガモ)  
「aim (art in miho) '08・土から生える」展(多治見市、土岐市、瑞浪市)
- 2009年 第43回「明治村茶会」日本庭園、野点席主担当(愛知県犬山市明治村)
- 在廊日: ホームページ・お電話でご確認ください



Black clay Chawan with porcelain pourings.  
Celadon glaze with pink blush

## マーガレット・カーティス Margaret Curtis

- 1955年 イングランド、シーアムに生まれる
- 1979年 イングランドのミドルリッグに、夫のエディー・カーティスと工房を設立
- 2003年 3度目の来日。四日市で開催された日英陶芸祭に参加  
イギリス的な解釈を加えた茶碗を発表する
- 2011年 英国陶芸家協会 フェロー

現在、茶碗を多数制作。粗い砂粒状の粘土と磁土のスリップを組み合わせた作品を探究している。



青白磁面取茶碗 高 10.4cm x 径 10.8cm

## 加藤 委 Tsubusa Kato

- 1962年 多治見市小名田町に生まれる  
1979年 多治見市陶磁器意匠研究所修了  
1986年 尼ヶ根古窯発掘調査参加  
1993年 京都書院「陶」vol.85 加藤委 刊行  
1996年 「凜・現代の陶芸美展」(滋賀県立陶芸の森)  
「現代陶芸若き旗手たち」(愛知県立陶磁資料館)  
「磁器の表現・90年代の展開」(東京国立近代美術館)  
1997年 美濃の現代陶芸「伝統と創造」(愛知県陶磁資料館)  
1998年 NHK BS2 やきもの探訪「土を切る」加藤委 放映  
2002年 「現代陶芸の100年展」(岐阜県現代陶芸美術館)  
2003年 「白磁・青磁の世界」展(茨城県陶芸美術館)  
金沢・世界工芸フォーラム2003  
2006年 Dai Ichi Art (NY)にて個展(2008年)  
2007年 「パラミタ陶芸大賞展」準大賞  
2008年 多治見修道院にて美濃茶会  
2011年 「白の時代」展(益子陶芸美術館)

在廊日：ホームページ・お電話で  
ご確認ください



Chawan, soda glazed porcelain 高 9.0cm x 径 13.0cm

## ジャック・ドハティ Jack Doherty

- 1948年 北アイルランドに生まれる
- 1966-70年 アルスター美術大学にて陶芸を専攻
- 1971年 アイルランドのキルケニー・デザインワークショップに陶工として加わり、仕事の合間に個人作品の制作も手がける
- 1977年 北アイルランド、スカーヴァに工房を築く
- 1983年 イングランド、ヘリフォードシャーのロス・オン・ワイに移る
- 1995-2000年 英国陶芸家協会 会長 (2002-08年に再任)
- 2008年 再建されたリーチ工房の作陶主任に選任され、セントアイヴスに移る

英国、欧州を中心に個展・グループ展多数



弥七田茶碗 高 7.5cm x 径 12.4cm

## 加藤 亮太郎 Ryotaro Kato

- 1974年 七代加藤幸兵衛の長男として生まれる
- 1999年 京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻修了
- 2000年 家業の幸兵衛窯に入る
- 2002年 倒焰式窯を自ら築く
- 2007年 個展(松坂屋名古屋店美術画廊)以後3年毎
- 2008年 美濃茶会(神言会修道院・多治見)
- 2009年 個展(大阪高島屋美術画廊)
- 2010年 個展(ビエニョ・名古屋)
- 個展(しづや黒田陶苑)以後毎年
- 2011年 個展(アートサロン光玄・名古屋)
- 茶会「温故創新」(古川美術館・名古屋)

在廊日：12月18日。他の日は、ホームページ・お電話でご確認ください



Slipware Chawan 高 8.0cm x 径 11.5cm

## ダグラス・フィッチ Douglas Fitch

- 1964年 イングランド、サンダーランドに生まれる
- 1983-85年 ダービーシャーカレッジで陶芸を専攻  
カレッジ初の陶芸研究生となる
- 1986年 フラワーポットの製造に携わる
- 1990年 プリマス大学にて陶芸および彫刻技術者に就任  
デモンストレーションを行う  
クライブ・ボウエンらと共に“kiln firing team”に参加
- 2003年 デボンに工房を設立  
伝統的なスリップウェアの制作を始める



金彩彩色茶碗 高 8.2cm x 径 14.2cm

## 桑田 卓郎 Takuro Kuwata

- 1981年 広島県福山市に生まれる
- 2006年 益子陶芸展 最高賞 濱田庄司賞(益子陶芸美術館)
- 2008年 国際陶磁器展美濃 美濃賞(セラミックパーク MINO)  
朝日現代クラフト展 奨励賞
- 2009年 テーブルウェアフェスティバル  
テーブルウェア大賞グランプリ経済産業大臣賞(東京ドーム)
- 2010年 COLORやきものと色の密かな関係(岐阜県現代陶芸美術館)
- 2011年 Art 42Basel・アートフェア・Masse Basel(スイス・バーゼル)  
東海現代陶芸 思考する新世代展(愛知県陶磁資料館)  
Art HK11・アートフェア(香港)

在廊日: ホームページ・お電話でご確認ください



Chawan, soda glazed 高 8.5cm x 径 11.1cm

## リサ・ハモンド Lisa Hammond

- 1956年 ロンドンに生まれる
- 1974年 ロンドン、ケネス・クラーク工房
- 1979年 ケント州・メドウェイカレッジ 陶芸専攻卒業
- 1980年 ロンドン東部、グリニッチに最初の工房を設立
- 1980年 ロンドン大学ゴールドスミスカレッジにて講師 (-1993年)
- 1994年 グリニッチの旧鉄道駅舎を改装して工房を設立
- 1998年 英国陶芸家協会 正会員
- 2003年 アート・イン・クレー 「ピアーズ賞」受賞  
英国陶芸家協会 カウンシルメンバー (役員)
- 2009年 デボン、キグベアに工房を移転  
現在、英国陶芸家協会 フェロー



藍鉄塩釉刷毛目鎬茶碗 高 8.8cm x 径 14.5cm

## 濱田 友緒 Tomoo Hamada

- 1967年 濱田晋作の次男、濱田庄司の孫として栃木県・益子に生まれる  
1989年 多摩美術大学美術学部彫刻家卒業  
1991年 同大学院美術研究科修了  
1998年 イギリス、ディッチリング美術館「濱田庄司展」のため渡英  
陶芸のデモンストレーションを行う  
2001年 日本橋三越本店にて個展開催。以後隔年開催  
2004年 作家活動10周年記念展開催(益子/宇都宮)  
2006年 塩釉窯「志緒窯」を建設  
2007年 三越各店にて濱田窯三代展「庄司・晋作・友緒 陶芸の道」展  
2008年 リーチ・ポタリー(イギリス、セントアイヴス)復興記念式典に出席  
2009年 リーチ・ポタリーにて「濱田友緒展」開催。ワークショップも行う  
ボストン、パッカーギャラリーにて「濱田窯三代展」(2011年)  
2011年 震災で崩壊した登り窯、塩窯を再建

在廊日: ホームページ・お電話でご確認ください



Black porcelain with white, red and gold 高 12.0cm x 径 12.0cm

## トニー・ラベリック Tony Laverick

- 1961年 イングランド、サンダーランドに生まれる
- 1981-84年 プレストン・ポリテクニク(現セントラル・ランカシャー大学)で陶芸を専攻
- 1986-88年 ストック・オン・トレントにて、陶磁器産業に従事  
ウェッジウッドグループのコールポート社デザイナー
- 1988年 スタッフォードシャー、リークに工房を築く
- 2005年 ボザール・ギャラリーにて初の個展(バース)
- 2006年 セントヨーゼフ・ギャラリーにて個展(オランダ)
- 2007年 ボザール・ギャラリーにて第2回個展(バース)



金志埜茶盃 高 8.2cm x 径 11.5cm

## 松崎 健 Ken Matsuzaki

- 1950年 日本画家・松崎脩己の三男として東京に生まれる  
1972年 玉川大学芸術学科陶芸専攻卒業後、島岡達三の門に入る  
1977年 益子町に築窯、現在に至る  
1978年 京王百貨店新宿店にて個展 (以後毎年)  
1980年 阪急百貨店 大阪うめだ本店にて個展 (以後毎年)  
1987年 西武百貨店池袋店にて日米陶芸 4 人展  
(島岡達三、松崎健、ウォーレン・マッケンジー、ランディ・ジョンストン)  
1995年 Six Master Potters at the Modern Ages展 (濱田庄司、島岡達三、  
松崎健、バーナード・リーチ、ウォーレン・マッケンジー、ランディ・ジョンストン)  
(ニューヨーク、BABCOCK GALLERIES)  
2001年 JAPAN EXIBITION AT RUFFORD 2001展 (英・RUFFORD GALLERY)  
2002年 個展 (ボストン、PUCKER GALLERY) 以後隔年  
2007年 個展 (イギリス、Goldmark Gallery) 以後隔年  
在廊日: 12月17日



Slipware Chawan 高 10.7cm x 径 9.0cm

## フィリップ・リーチ Philip Leach

- 1947年 ハンプシャーに生まれる
- 1949-56年 セントアイヴス、リーチ工房隣の住居に住む
- 1956年 父のマイケル・リーチと共に北デボンへ移る
- 1966-69年 ニュートン・パーク・カレッジにてアート&デザインを専攻
- 1970年 イランを訪問。アメリカン・スクールで教職に就く  
その後、アメリカン・ウィメンズ・クラブで陶芸を教え始める
- 1976年 英国に帰国。クライヴ・ボウエンの築窯を手伝う
- 1979年 北デボン、ハートランドに工房を築く
- 1996年 日本を初めて訪問。各地で展覧会と講演会を開催
- 2006年 5回目の日本訪問。我孫子、白樺文学館で講演を行う  
ギャラリー・セントアイヴスで「フィリップ・リーチ作陶展」



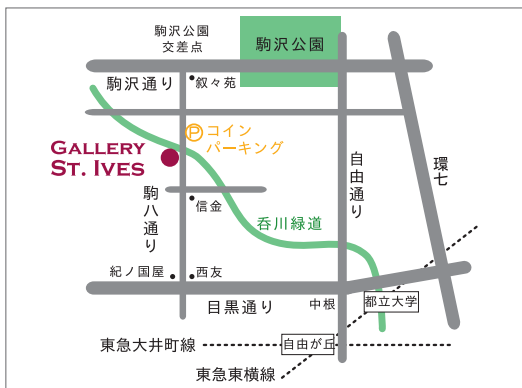
Chawan, ash glazed and wood fired 高 10.2cm x 径 11.5cm

## フィル・ロジャース Phil Rogers

- 1951年 ウェールズ、ニューポートに生まれる
- 1973年 ケンブリッジシャーの中学校で美術・陶芸講師
- 1977年 ウェールズ、ラヤダーに最初の工房を設立
- 1984年 ラヤダーの旧農家に移り、新たに工房を設立
- 1991年 英国陶芸家協会の会長に選任される
- 1992年 著書「Ash Glazes (灰釉)」が出版される
- 2003年 日本と韓国を訪問
- 2005年 3室の薪窯を築く
- 2006年 益子陶芸美術館にて「フィル・ロジャース展」を開催  
ギャラリー・セントアイヴスにて「松崎健 フィル・ロジャース 二人展」  
ビクトリア&アルバート美術館ほか、世界各地の美術館に作品所蔵

# Chawan exhibition by 15 British and Japanese potters

9th December 2011 - 15th January 2012  
(closed on Tue and Wed & 26th Dec - 5th Jan)



- 自由が丘駅より東急バス「駒大深沢キャンパス」行き、または「東京医療センター」行きにて「エーダンモール深沢」、または「深沢一丁目フリー降車区間」に入ってすぐ下車、それぞれ徒歩1分
- 都立大学駅より呑川緑道沿いを徒歩20分

## GALLERY ST. IVES

ギャラリー・セントアイヴス *since 2000*

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 3-5-13

Tel 03-3705-3050 Email [mail@gallery-st-ives.co.jp](mailto:mail@gallery-st-ives.co.jp)

Web <http://www.gallery-st-ives.co.jp>